

第2 平成30年度「学校評価」事業報告

第1回 外部評価委員会 出席者：保護者会会長、地域中学校長、地域代表、大学教授、教育関係者
学校事務局（校長、教頭、分掌長など）
平成30年9月8日（土）午後3時から5時実施

第2回 外部評価委員会 出席者：保護者会会長、地域中学校長、地域代表、教育関係者
学校事務局（校長、教頭、分掌長など）
平成31年2月23日（土）午後3時から5時実施

学校教育自己診断の結果と分析	外部評価委員会からの意見
（学校教育自己診断結果） 【中学校・高等学校生徒】 ほとんどの項目で昨年度比において上昇した。特に、学習面で教材が工夫されていること、資格取得に熱心であること、部活動は学校生活を充実させていることなどが上昇し、教育活動の大枠に対する理解が進んでいると思われる。 【中学校・保護者】 ほとんどの項目で昨年度比において上昇した。概ね学校の教育方針や取組みへの理解がなされていると思われる。特に、ホームページなど情報発信が効果的であること、保護者活動が活発であること、人権教育は効果的であることに対して理解されているなどの項目が上昇した。ただ、防犯など安全対策が十分であること、保護者の訪問等に適切に対応しているなどが下がり、課題となった。 【教職員】 ある項目で昨年度比を下がったものもあり、学校改革によって、問題や課題に対して取り組んでいる中、厳しい問題意識の表れと思われる。教育計画を立てること、情報モラルを高めること、生徒の自立への指導と対応などに対して、更なる改善をする必要があると認識している。また、ホームページによる情報公開や個々の生徒の進路指導の指導体制などについて、概ね進んでいると認識している。	（外部評価委員会の意見） 【第1回外部評価委員会】 ・一番大切なことは、基礎学力の前に「生徒指導なくして学習指導なし」のように学習への姿勢だと思う。まだその上に、主体的な学びをどう作っていくのかを考えてほしい。 ・コースごとの目標を持ち、短期的目標であっても計画的にやってほしい。 ・学力アップに力を入れ、学習環境も変わったことは、子どもや保護者の中からも声が上がっている。 ・朝読は非常に大切だと思う。読解力をつけるかで学力向上が高まる。 ・地域でパティシエコースのケーキを配ったら、大変好評であった。さらに、地域にPRしてほしい。 【第2回外部評価委員会】 ・生徒の数値が全般的に上がっているが、主観の数値であることや背景を考えるなど、分析する必要がある。先生方の課題意識が高くなると評価が下がる。 ・保護者会として防災セットを購入した割には数値が下がっている。保護者や生徒へのアピールが足りなかったからかもしれない。 ・コースごとの分析を進める。学校は長期にわたって変わっていく。まずは、2～3年後の数値が大切。